

今秋、同窓生の偉業をしのびながら故郷を歩き、  
共通の趣味を持つ同窓会員相互の親睦をはかります

# 同窓と歩く秋の長工新道

平成23年10月22日(土)~23日(日)

## ご案内

コース 1日目

長岡駅 10時~栖吉町~花立峠登り口~花立峠~〔長工新道〕~  
萱峠~あまやち会館(宿泊・懇親)

予定歩行時間 3時間40分

2日目

山古志探勝(木籠土砂ダム、手堀り中山トンネル)  
~長岡駅解散 12時

費用 11,000円(予定)

(1人あたりの宿泊費・懇親費・交通費・傷害保険代)

申込み 別紙申込書を郵送により同窓会事務局にお送りください

締切り 平成23年10月7日(金)必着

## 長工新道

長岡東山連峰の花立峠より南に下がった萱峠までの約5キロに、昭和32年当時の山岳部生徒、顧問、学校職員、OBらが苦渋の汗を流し、鋸、鉋、鎌をふるって開伐した登山道です。



長岡市内が一望でき、新潟平野を信濃川が蛇行する様は、長陵が丘をくねる大河です。西山連峰、弥彦山の先に日本海、その先に佐渡島が浮かび、深紅に輝く夕陽の美しさは汗を流して登った者に与えられる至福の絶景です。右へ廻ると鋸山が指呼の間にあり、東側に八十里峠から六十里峠に立ちふさがる守門岳、浅草岳、鬼が面山の雄姿。南側に魚沼の峰々から上越国境まで続く雄峰、そして米山、妙高三山。

先輩諸氏がこの地に登山道を開いた熱意は、長工新道を歩いてみて、素晴らしい眺望の展開と、自然環境に触れて理解できるというものでしょう。

(長工山岳部記録より)